

キャッシングの金利・利息

キャッシングはお金を借りることです。

お金を借りるということはそこには当然「利息・金利」が発生することになります。

金利や利息はお金を借りることに対する対価です。

通常は年利何パーセントという形で、1年間お金を借りたときにかかる金利として「%」で表示されます。

クレジットやキャッシングなどでお金を借りる場合は「実質年利」という名称で呼ばれていて、この実質年利には金利以外にも手数料・保証料などを含めた合計の費用を含むことになっています。

だから、返済金額が実質年率で計算されている場合であれば、債権者から返済金額以外に費用などを請求されることもないし、ないということは毎月返済していかなければならない金額が明確に算出され、債務者が返済していく金額がはっきり実質年利という名目で表示されてわかることになっているのです。

～金利・利息の計算方法～

1日の借入れに対してかかる金利・利息を算出するには、実質年利を365等分（1年分を1日単位に変換）して、それを借入れた金額（元本）に乗算することで明らかになります。下記は、具体的な数字を当てはめて計算してみます。

例えば、実質年利15%で30万円のお金を借入れて、30日で返済するときの利息を計算します。

計算式自体は、下記に示されたようにめちゃ簡単です。

$$30 \text{ 万円} \times (15\% \div 365 \times 30) = 3,698 \text{ 円}$$

上の計算結果が1カ月(30日)お金を借りたときにかかる利息です。

30万円を借りて翌月一括返済した場合は、元金である30万円とその利息である3,698円を合算して返済する必要があります。

合計303,698円です。

ただ、この借りたお金を返済するのは常に一括返済というわけではないでしょう。

借りたお金を複数回に分けて返済する場合のほうがずっと多いはずですが。

その場合の返済方法には様々あって、それによって月々の返済金額は違ってきます。

返済方法の説明については別稿しますが、

ここでは、先の例で月々6万円を支払う約束で、返済方法を「元金均等返済方式」で算出してみます。

○1 か月目の返済額・・・残金は30万円なので、 $30 \text{ 万} \times (15\% \div 365 \times 30) = 3,698 \text{ 円}$ 。これに6万円をプラスして63,698円が一回目となります。

○2 か月目の返済額・・・残金は24万円なので、 $24 \text{ 万} \times (15\% \div 365 \times 30) = 2,959 \text{ 円}$ 。これに6万円をプラスして62,959円が二回目となります。

○3 か月目の返済額・・・残金は18万円なので、 $18 \text{ 万} \times (15\% \div 365 \times 30) = 2,219 \text{ 円}$ 。これに6万円をプラスして62,219円が三回目となります。

○4 か月目の返済額・・・残金は12万円なので、 $12 \text{ 万} \times (15\% \div 365 \times 30) = 1,479 \text{ 円}$ 。これに6万円をプラスして61,479円が四回目となります。

○5 か月目の返済額・・・残金は6万円なので、 $6 \text{ 万} \times (15\% \div 365 \times 30) = 740 \text{ 円}$ 。これに6万円をプラスして60,740円が五回目となります。

元利合計支払額311,095円ということになります。

「元利均等返済方式」で算出してみます。

○1 か月目の返済 300,000円 $300,000 \text{ 円} \times (15\% \div 365 \times 30) = 3,698$ 60,000円=(元金部分 56,302 利息部分 3,698)

○2 か月目の返済 243,698円 $243,698 \text{ 円} \times (15\% \div 365 \times 30) = 3,004$ 60,000円=(元金部分 56,996 利息部分 3,004)

○3 か月目の返済 186,702円 $186,702 \text{ 円} \times (15\% \div 365 \times 30) = 2,301$ 60,000円=(元金部分 57,699 利息部分 2,301)

○4 か月目の返済 129,003円 $129,003 \text{ 円} \times (15\% \div 365 \times 30) = 1,590$ 60,000円=(元金部分 58,410 利息部分 1,590)

○5 か月目の返済 70,593円 $70,593 \text{ 円} \times (15\% \div 365 \times 30) = 870$ 60,000円=(元金部分 59,310 利息部分 870)

○6 か月目の返済 11,283円 $11,283 \text{ 円} \times (15\% \div 365 \times 30) = 139$ (元金部分 11,283 利息部分 139)

元利合計支払額311,463円ということになります。

以上が、分割払いの金利計算法となります。